

【にんげん部門（高校生の部）・佳作賞】

大谷（親鸞聖人）からあなたが願われていること

大谷高等学校 第3学年 赤松 優哉

私が親鸞聖人に願われていることは、「人の誤ちを許すことができる心」だと考えます。

私たちは常に完璧でありたいと考えます。どんな時でも失敗せずに、他人に迷惑をかけないように努めます。しかし人間である以上は誰でも失敗し、他人に迷惑をかけてしまいます。それは当然のことで、どれだけ気をつけても防ぐことはできません。恐らく、親鸞聖人もそのことには気づいておられたと思います。だから、誰でも失敗することがあり、自分も失敗することもあるから、お互いに許し合える心を持つべきだと思います。

また、その心を持っていたほうが、社会の中や集団の中で生きる上で、心の助けになると思います。失敗しないように、迷惑をかけないように、それらをゼロにしようと考え、生活している時に失敗をしてしまうと、自分に対するダメージがとても大きいものになると思います。失敗してしまった時の申し訳なさや、罪悪感をとても強く感じてしまうのです。しかし、誤ちを許す心が社会や集団の中で育くまれていれば、失敗することを周りの人間から攻められることなく、失敗した時の自分の心はとても楽な状態を保つことができます。また、全員が失敗を恐れず、自らアクションを起こすことが多くなり、組織全体の士気や生産性は大きく向上することに繋がると思います。

これらのことから、人間として少しでも成長し、自分の生活を生きやすいものとするためには、「人の誤ちを許す心」が大切になり、親鸞聖人も、人として当然のことである誤ちを許し、互いに手を取り助け合って生きていくことを願っておられると思います。